

●夜の生き物調査 14日21名の参加 小学生5人 中学生1人 コクワガタ ハンミョウ、ホシウスバカゲロウが初めて飛来。20種の名前を確認、合計7,300匹

○ 美味しいカレー 今年で4回目の夜の生き物調べは、美味しい夕食を緑あふれる里山農園で大勢の仲間との食事が格別です。今年は手作りのカレーでした。具は取り立てのニンジンや玉ねぎジャガイモ、まさに地産地消のもので、新鮮で大へん美味しかったです。2杯も3杯もいただく人が出ました。それぞれの具は出発前に自宅で仕込んできて煮ていただきました。この夕食を機にすっかり仲間意識が深まりました。子どもたちの元気も一段と回復して網を振って、捕獲に夢中でした。

○ クワガタ捕獲で大満足 2年続きで参加した男の子は、クワガタが飛んできてほしいと、何度も口にしていました。これまで、なかなか見つけることが、できていませんでした。それが20時前に飛んできたのです。必死に捕獲しました。大満足でした。この地区で初めて出現したものです。そして2匹目が22時前に飛来しました。ハンミョウも確認できました。この取り組み、およそ4時間の点灯で2匹が確認できました。きっと優れた環境が残されているのだろうと思います。

○ 金田さん全力で準備 蚊帳作りに2時間精を出していただきました。仮眠する時の対策として頑張ってくださいましたダンボーを敷き詰めクッションも設定されました。昼間の気温は40℃近くまで上がっていました。天井のトタンは5mと高いのですが日当たりが強く輻射熱がものすごく伝わってきます。湿度も60%、高齢者には非常に厳しい条件でした。昆虫が飛んで来た時にとまり易く、見つけやすくするめの白布は必要不可欠です。8mの幅に2mの高さで釣さなければなりません。そして、めくれないようにピン止めも必要でした。昆虫が飛来してくると、子どもたちは、同定することも大忙しです。準備から同定までと頑張ってくださいました。

○ 高温と高湿度 暑さにつかれた体にはミストの風と霧は心地よいもので、元気が回復します。しかし湿度が高いと半減です。夜に入ると、さらに湿度が上がり 20時以後になると食卓に使った机の上が夜露とミスとの霧でベトベトですから霧の放出は止めました。昨年に比べて、さらにひどい湿度でした。

○ 前日準備と当日準備 人手不足 一晚をかけたの調査は里山の会にとっては大勝負の自然調査行動です。ところが前日の準備は5名という人数でした。9号地の草刈や南の道、中の道、北の道の除草は19枚の田圃の畦道で相当な作業量となります。いずれも手入れが出来ませんでした。そのうえ気温が高く汗まみれになる中での準備でした。入り口通路と9号地は見違えるほどにきれいになりました。頑張ってくださいました皆さんご苦労様でした。

○ 飲料水の運び込み大仕事 9号地は風通しと見通しのきく、農園で1番絶景の場所です。ここへの準備物の持ち込みは苦労が伴います。中でも飲み水の運び揚げは特段の力が必要です。階段場所も崩れが目立ち持ち上げ作業はさらに苦労です。早急に改良改善を図らなければ継続開催は不可能となるでしょう。

○ トイレの準備不行き届き 通路が遠く新月で真っ暗 足元不安で不便 仮設トイレが準備されていますが、通路をよく知っていないと安心して歩けないという位置にあります。通路幅の確保と夜間照明の確保が必要です。何よりも仮設ではなくて本格的なものが必要です。

○ 子どもたちは、翌日のクラブ活動が計画されているので宿泊できず 22時に帰宅予定で参加していました。こうした条件も考えて、夜の調査時期や時間帯を考慮しなければならないと思います。出席してくれた昆虫好きの皆さんのからアンケートを行うことも一考ではないでしょうか。(今回の夜の生き物調べから様々な課題が明らかになりました。お気づきがあれば連絡ください)

●夏原グラント申請事業 白土山への通路確保 尾根筋ルート確定 17日 大村、津川、深田、森島、金田 冬に目印をつけておきましたが、葉が茂ってくるとコースの確保は難しくなっていました。数回チャレンジしましたが、洞窟まで到達できていけませんので、17日午前9時から深田、森島、津川、金田の強力メンバ

一4人が探索してくれました。登り始めて約40分後に目指す白土洞窟を発見できました。これまで一個とみられていた洞窟入り口が数個、少なくとも3個が存在していることがわかりました。その多くが崩壊を繰り返しており、大きな洞窟穴も徐々に小さくなっているようでした。そして崖の中腹に穴があるのですが、崖の頂上から10mのところに自衛隊祝園基地の鉄条網があって、点検通路がすぐそこに見えます。24日(火)9時30分からこの頂上コースの確定と整備作業を行います。ご協力いただける皆様のご参集をお願いいたします。

●農園の活動紹介

24日火曜日 白土山への尾根筋ルートのガイドロープ張り作業 支障物除去作業を予定しています。

●里山農園の活動方針スローガンを考える

三連休の最終の16日(月)午前11時から農園部会の皆さんと農園のスローガンを考えました。どういう農園にしていくのか、その姿を検討する時間を持ちました。一時は作物栽培を中止する方向になったときもありましたが、3人の新しい仲間があって、栽培が継続され、かなり上向き傾向がみられるように元気になってきました。しかし、この日に出された意見は、それほど元気があるように見えませんでした、新しい仲間をお願いするには農作物の栽培だけでは、家庭菜園的な取組みでは限界があるのではないかと話が進みました。

●「親子で遊ぼう学ぼう魚とり」の取り組みについて打合せ

いよいよ夏休み直前となりました。山城教育局管内の全小学校児童生徒全員に案内チラシを配布。一部地域から応募はがきが届いています。来る21日(土)は、京田辺市草内グラント駐車場に9時30分集合し初回の取組みを行います。自然豊かな木津川の清流がよみがえりつつあると体感していただきたいと思います。昨年の魚の捕獲数は230匹を数えました。数回の取組みすべてで全員が魚の捕獲体験ができました。これまでのようにゲットが出来なかったということはなくなりました。喜ぶ子供たちの笑顔がうれしいですよ。スタッフとしてご協力いただける方ぜひお願いいたします。

●熱中症について、猛暑続きで小学生は安全か

勇気ある安全対策は中止ではないか。小学1年生の校外学習後 死亡発生に心が痛みます。集団行動のもとで自分の異常に気付いても、強く主張できず頑張ったので、死亡に至るといふ悲しい結果になったと考えられる。連日の猛暑続きで、多くの犠牲者が発生し、マスコミで注意が呼びかけられている。まさに異常な気象です。日陰一つない広い河原での取組みをどのように考えるのかと事務局会議に提案した。

応募してきた子どもたちの期待に主催者として取るべき行動は？ なかなか結論は出なかった。しかし安全という物差しは何よりも優先させなければならない。これだけ猛暑日の連続と死亡事故が続く、まして京都の中でも記録的な暑さで、川原という条件と、中止もやむなしが妥当な判断ということになるのではないか。あくまで準備は行いながら、当日の9時に現地で決定することにした。屋外の取組は中止の場合、木津川流域センターへ移動し、屋内での座学(準備した配布資料説明)も考えることにする。

●京の七夕 笹竹提供

御園橋商店街へ納品 18日(水)事務局会議後 往路約1時間 これまで七夕の笹竹納品で最も北にある御園橋に届けた。ここまで登ってくると中心部の賑わいも落ち着き東西南北に交差する道路には緑地が四隅にあって、その中に竹を結わいつけ、2つ盛るかという支柱が設置されていた。北東の角が商工会の事務所だった。事務所は四人掛けの机や椅子が20組近く備えられていて、将棋を楽しんでおられた。そこに5mの笹竹を運び込んだ、暑いのにご苦労様と労をねぎらっていただき、良く持って来ていただいたと喜んでいただいた。帰路も約1時間かかった。次は25日伏見大手筋商店街である。